

シーズ名	貝類養殖漁場の底質環境の評価	分類：10
所属 / 職 / 氏名	漁場保全部 / 専門研究員 / 内記公明	
キーワード	水産業振興 漁場環境保全 底質 硫酸還元細菌	

どんな技術？

一言アピール

東日本大震災津波により変化した貝類養殖漁場の底質が養殖水産物に与える影響を評価することができます。

【概要】

東日本大震災津波後に、貝類養殖漁場付近の海底から海底堆積物を採取し、有機物の量（化学的酸素要求量）や有機物が分解される過程で副次的に発生する硫化物の量（酸揮発性硫化物態硫黄）を調べました。また、有機物分解を主に担っていることが知られている硫酸還元細菌の数も調べました。その結果、有機物の量と硫酸還元細菌の数に相関が見られましたことから、底質の有機物汚濁の状況を新たな視点から把握することが可能となりました。このことから、堆積した有機物が今後どのように変化し、将来的に漁場の水質へどのような影響を与える可能性があるのかを評価し、評価に基づく漁場利用手法を提案することができます。



図1 貝類養殖漁場

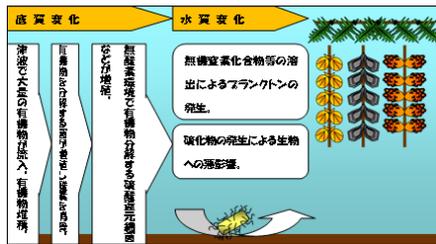


図2 底質環境の変化が養殖水産物に与える影響

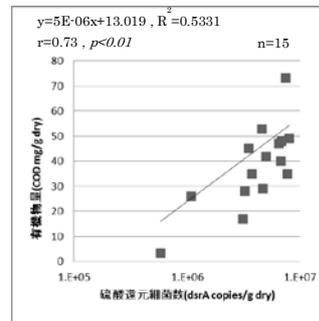


図3 有機物量と硫酸還元細菌数の相関

何に使えるの？

貝類養殖漁場の環境へ長期的な影響を与える底質を新たな視点から把握することが可能となり、東日本大震災により変化した底質の評価と、評価に基づく漁場利用手法を提案することができます。

関連特許	
関連資料等	平成25年度日本水産学会春季大会講演要旨集 p.166